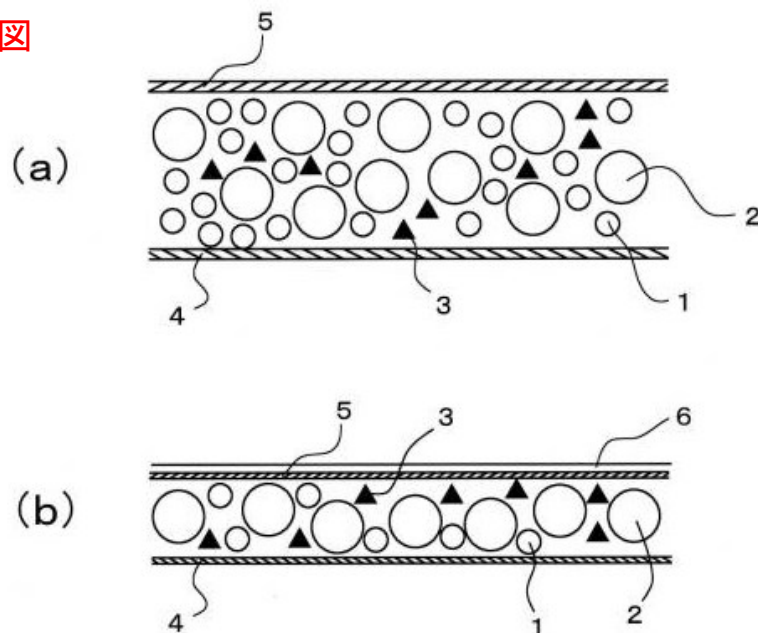


電子部品・素子 面方向だけでなく厚み方向の熱伝導性も高めた放熱材

発明の名称	混合グラファイトを用いた放熱材およびその製造方法		
出願人/権利人	ジャパンマテックス株式会社	発明者	塚本 勝朗、塚本 浩晃、中村 雄三
出願日	平成29年5月19日	出願番号	2017-100415
公開番号	2018-26527	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



1 第1の発泡黒鉛 2 第2の発泡黒鉛
3 フィラー 4、5 アルミ箔 6 水系塗料

発明の概要

厚み方向の熱伝導性を高め、さらにシート体で挟むことで面方向の熱伝導性も高めた放熱材

特徴

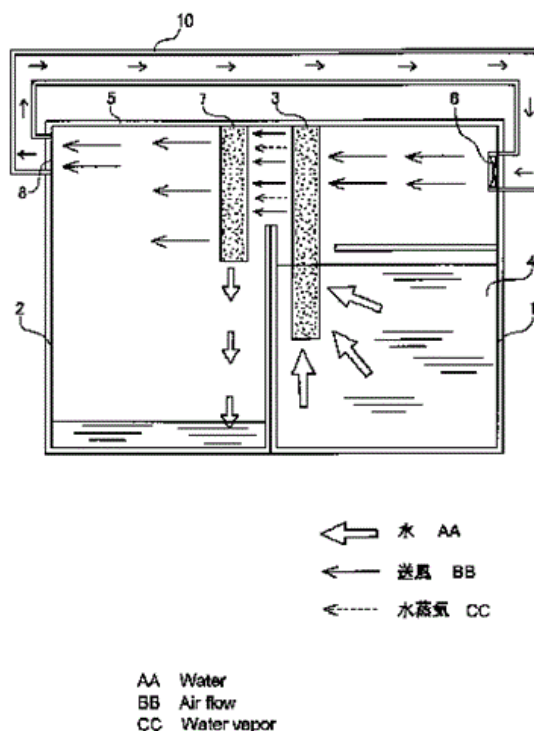
本発明は、人造黒鉛、ボロンナイトライド、ピッチ系炭素繊維ミルドから選択される一種以上の熱伝導性フィラーを、粒径の異なる2種の発泡黒鉛に均一に混合することで厚み方向の熱伝導性を高めた放熱材。さらには、人造黒鉛、シリコンカーバイド、ピッチ系炭素繊維ミルドから選択される一種以上の熱伝導性フィラーを粒径の異なる2種の発泡黒鉛に均一になるよう混合することで厚み方向の熱伝導性を高め、熱伝導性フィラーを粒径の異なる2種の発泡黒鉛に均一になるよう混合したものをシート体で挟むことで面方向の熱伝導性も高めた放熱材。

業務用機械

海水、汚泥水、油水、工業用排水用の真水生成装置

発明の名称	真水生成装置		
出願人/権利人	株式会社ワンワールド、伊藤 智章	発明者	伊藤 智章
出願日	平成28年3月10日	出願番号	2016-543764
公開番号	WO16/143848	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



発明の概要

逆浸透膜のような交換メンテも必要としない、より簡易でコストもかからない真水生成装置

特徴

本発明の真水生成装置では、第一貯蔵槽に貯蔵された海水などから水分のみが第一の吸水基材に瞬時に浸透する。浸透した水分は、送風手段による送風によって順次気化し、水蒸気となって送り出される。海水から生成される真水に対して加熱やオゾン処理を行いミネラルを添加すれば飲料水を得ることができる。ヒ素などで汚染された汚染水であっても同様に汚染物質を除去して飲料水を得ることができる。BOD、CODが問題となる工業用排水についても本装置を使用して排水処理を行い、染料などの染色水も同様に透明にして排水処理を行うことができる。

関連分野

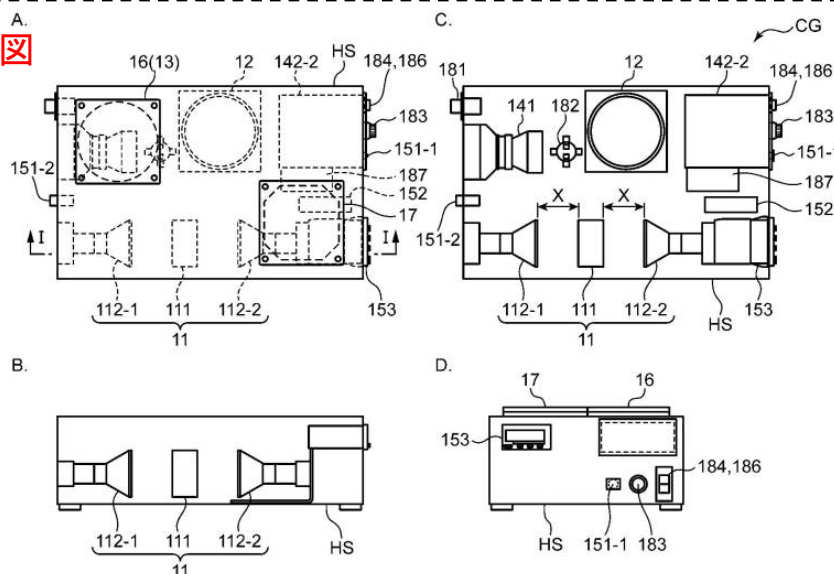
農林水産、飲食、電気機械、廃棄物処理、建設・土木、医療・保健衛生

業務用機械

二酸化塩素ガスの濃度が制御可能な除菌装置

発明の名称	二酸化塩素ガス発生装置および除菌装置		
出願人/権利人	三宝電機株式会社	発明者	吉川 正司、岩倉 博美、井土垣 義一
出願日	平成29年3月1日	出願番号	2017-038074
公開番号	2018-20948	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図



HS: 筐体、CG: 二酸化塩素ガス発生装置、11: ガス発生部、12: 制御部、13: ファン、16: 除塵フィルタ、17: 除塵フィルタ、112(112-1、112-2): 発光部、141: ヒータ、142-2: 温度コントローラ、151-1: ヒューズ、151-2: 外部出力端子、152: リレー、153: アワーメータ、181: メタルコネクタ、183: ヒューズ、184: 電源スイッチ、186: パイロットランプ、187: パワーサプライ

発明の概要

二酸化塩素ガスの濃度を制御できる二酸化塩素ガス発生装置およびこれを用いた除菌装置

特徴

本発明の二酸化塩素ガス発生装置は、二酸化塩素ガスを発生し、発生した二酸化塩素ガスを所定の空間に供給するガス発生部と、所定の空間の容積に基づいて、空間における二酸化塩素ガスの濃度が目標濃度範囲内となるようにガス発生部における二酸化塩素ガスを発生するオン時間とオフ時間とを制御する制御部を備えている。さらに、所定の空間における二酸化塩素ガスの濃度が目標濃度範囲内となるように、ガス発生部の温度を調整する温度調整部も備えている。

関連分野

農林水産、飲食、化学、電気機械、医療・保健衛生

ケミカル

耐久性に優れ、安全性も高い3Dプリンター用樹脂組成物

発明の名称	3Dプリンター用樹脂組成物		
出願人/権利人	ケーエスエム株式会社	発明者	小山 拓也、櫻井 泰一
出願日	平成28年7月27日	出願番号	2016-146841
公開番号	2018-15955	特許番号	—
法的状態	出願中		

代表図

【請求項1】

セルロースナノファイバー及び硬化性樹脂を含有することを特徴とする3Dプリンター用樹脂組成物。

【請求項2】

硬化性樹脂は、熱可塑性樹脂又はエネルギー線硬化型樹脂である請求項1記載の3Dプリンター用樹脂組成物。

発明の概要

耐久性に優れ、得られる成形品の軽量化を図ることができるような3Dプリンター用樹脂組成物

特徴

本発明は、セルロースナノファイバーを含有する3Dプリンター用樹脂組成物である。平均繊維径4～200nmのセルロースナノファイバーは、強度に優れ、熱・水に対する耐久性も優れたものである。更に、天然由来の成分であることから、環境への負荷も少なく、生体への安全性も高い。3Dプリンター用の材料として使用することで、強度が耐久性に優れた成形体を得ることができる。更に、得られた成形体の生体への安全性も高いものであることから、歯科材料等の医療分野の用途においても好適に使用することができる。

関連分野

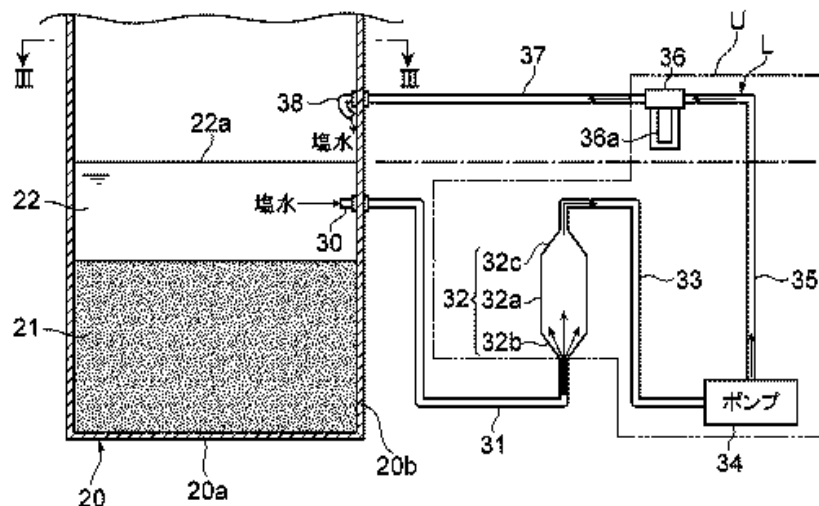
業務用機械、その他製造

業務用機械

塩水タンク内の衛生状態が維持される電解次亜水生成装置

発明の名称	電解次亜水生成装置		
出願人/権利人	株式会社インダ	発明者	山下 啓一、佐野 太郎、影山 寿晴
出願日	平成26年1月31日	出願番号	2014-017671
公開番号	2015-144976	特許番号	6284775
法的状態	登録中		

代表図



20…塩水タンク、20a…底壁、20b…側壁、21…堆積層、22…液層、22a…水面、30…塩水取出管（塩水取出部）、31、33、35、37…塩水搬送管、32…流速調整管（流速調整部）、32a…本体部、32b…上流側端部、32c…下流側端部、34…ポンプ、36…不純物除去フィルタ、38…塩水戻し管（塩水戻し部）、L…塩水還流路、U…不純物除去ユニット。

発明の概要

塩水タンク内の不純物を除去し、衛生面を維持することができる電解次亜水生成装置

特徴

本発明の電解次亜水生成装置では、塩水タンクに連結された塩水還流路上に設けられた不純物除去ユニットにて塩水中の不純物が除去されるため、塩水タンク内の衛生性が向上し、維持される。また、塩除去フィルタを通して塩水タンクから電解槽に塩水を供給する流路とは別の流路上に不純物除去ユニットがあるため、塩除去フィルタが汚れるようなことも抑制され、塩除去フィルタの衛生性が担保される。更に、不純物除去ユニットが塩水タンク外に設けられているため、不純物除去フィルタの交換が容易となり、結果として、塩水タンク内の衛生面が向上する。

ケミカル

錆の発生を長期間抑制する金属材料の防錆処理方法

発明の名称	金属材料の防錆処理方法		
出願人/権利人	奥野製薬工業株式会社	発明者	野崎 匡文、嶋橋 克将、加東 隆、村橋 浩一郎、大塚 邦顕
出願日	平成26年1月16日	出願番号	2014-005780
公開番号	2015-134942	特許番号	6278308
法的状態	登録中		

代表図

【請求項1】

金属材料に対して、3価クロム化合物を含有する処理液による化成処理を行った後、リン酸塩を含む処理液による化成処理を行い、次いで、アルコキシシランオリゴマーを含有する処理液を用いてシリカ質皮膜を形成する、金属材料の防錆処理方法であって、

前記リン酸塩を含む処理液が、リン酸イオンの供給源となる化合物を0.01～10重量%及びケイ酸イオンの供給源となる化合物を0.1～10重量%含む水溶液である方法。

発明の概要

金属材料に対して、優れた防錆性能を付与することが可能な新規な防錆処理方法

特徴

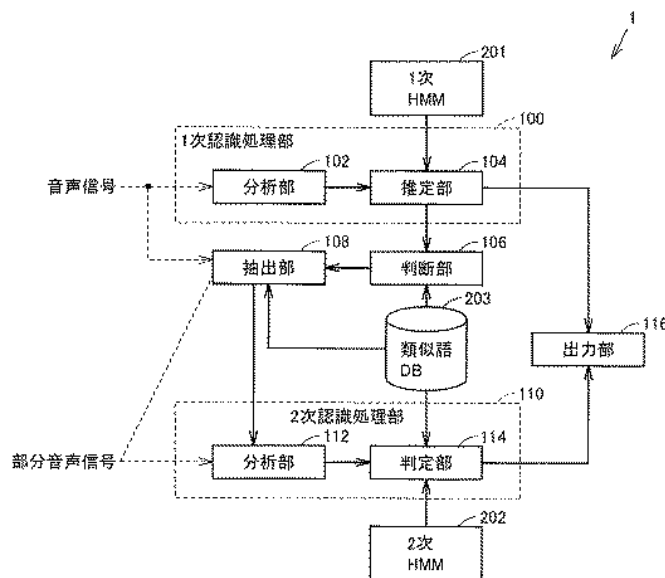
本発明では各種の金属材料に対して、3価のクロム化合物を含有する処理液によって化成処理を行った後、アルコキシシランオリゴマーを含有する処理液を用いてシリカ質皮膜を形成する方法によって、錆の発生を長期間抑制して優れた防錆性能を付与することができる。更に、3価のクロム化合物を含有する処理液によって化成処理を行った後、リン酸塩を含有する化成処理液による化成処理を行い、その後、アルコキシシランを含有する処理液を用いてシリカ質皮膜を形成する方法によれば、金属材料の防錆性能をより一層向上できる。

関連分野

業務用機械、電気機械、陸上輸送機械、海・空等輸送機械、建設・土木

発明の名称	音声認識装置および音声認識プログラム		
出願人/権利人	株式会社レイトロン	発明者	荒金 康人
出願日	平成25年4月12日	出願番号	2013-084104
公開番号	2014-206642	特許番号	6276513
法的状態	登録中		

代表図



1 音声認識装置、100 1次認識処理部、102 分析部、104 推定部、
 106 判断部、108 抽出部、110 2次認識処理部、112 分析部、
 114 判定部、116 出力部、201 1次HMMデータ、
 202 2次HMMデータ、203 類似語データベース

発明の概要

孤立単語認識方式により音声認識を行う音声認識装置および音声認識プログラム

特徴

本発明の音声認識装置は、音響的に互いに類似するキーワードについての類似語情報を予め格納する類似語データベース(DB)と、類似語情報を参照することで、第1の認識処理部において推定された第1の単語と類似する第2の単語が存在するか否かを判断するための判断部と、第2の単語が存在すると判断された場合に、音声信号から予め定められた特定の区間における部分音声信号を抽出するための抽出部と、第2の認識処理部とを備えている。この構成によりキーワード間の誤認識を低減させることができる。